



伏虎中便り No. 8

平成27年7月9日
(伏虎中便りは、学校HPにも掲載します)



平和への想いを込めて…

1945年7月9日夜から翌日の未明にかけて、現在の伏虎中学校一帯は上空6kmにまで達する煙の柱が立ち上るほどの凄まじい炎と熱風による竜巻に包まれ、信じがたい多くの人々の命が失われました。和歌山大空襲です。戦争は国家レベルでの人権侵害です。私たちは実際の戦争を体験していませんが、想像力をしっかりと働かせて、戦争のない世界をつくる担い手にならなければなりません。



2015年7月9日、和歌山市戦没者戦災死者合同追悼式に、和歌山市内の中学生を代表して1年生の寒川慎也くん、宮本恵己子さん、尾崎風紗さんの3名が出席しました。尾崎さんの「平和への想いを込めて折りました」という言葉に合わせ、1年生全員で作成した千羽鶴を寒川くんが市長に渡しました。また、宮本さんが「二度と戦争を起こさないために、学んだことをしっかり考え、次の世代に伝えていくことが私たちの使命です」と、平和な社会を守り続けていくことの誓いを述べました。この機会に、友だちや家族や様々な人たちと、平和について真剣に考え、話しあいましょう。



登校指導 ありがとうございます。

6月15～19日の間、育友会のみなさまが校外指導部の方々を中心に登校指導をしてくださいました。生徒の交通安全に配慮していただくだけでなく、あいさつを促すといったことにも気を配っていただきました。ちょうど、その前の週から不審者情報もあり、保護者のみなさまの見守りは、とても心強かったです。生徒たちは交通ルールをよく守り、安全に登校できていたと報告をいただきました。だからこそ、あいさつが元気よくできると、もっといいのにと報告もありました。安全で安心でき、笑顔のあいさつがあふれる地域の発信源が伏虎中生だといいですね。



願いを叶えるには…

♪ さ～さ～の～は さ～らさら～ ♪

國祐さんが用意してくれ、生徒会が玄関に設置してくれた笹に、日に日にカラフルな短冊が増えていきました。当然のことながら、短冊には願い事が書かれています。勉強のこと、部活動のこと、仲間とのこと…。願いがあるということは、よりよい自分を求めているということでしょう。短冊に願いを書いて笹に付けて…これでOK!? これだけで願いが叶うなら年中、町中短冊の付いた笹だらけになってしまいます。本当に願いを叶えたいならどうすればいいと思いますか？答えはひとつ!!願いを叶えるために何が必要かを考え、実践するのです。校長先生の短冊を見ましたか。「有言実行」。実行するしかないのです。いつの日か、みんなの願いが叶いますように…。



【目指す生徒像】 自分で考え、自分で実践し、自分で責任のとれる生徒